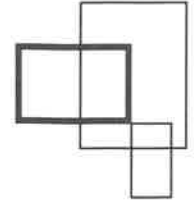




Matsuyama
Business
College

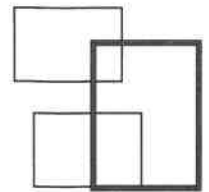
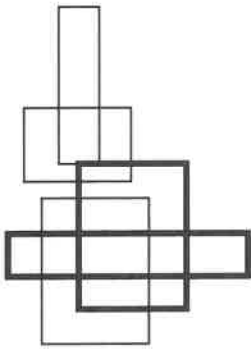


松山デザイナー専門学校

ファッションクリエイター学科

2024 年度

シラバス



ファッションクリエイターコース 1年

名前

※一年間、各自保管すること

令和6年度

服飾家政専門課程 ファッションクリエイター学科 ファッションクリエイターコース

必修 / 選択	区分	科目名	種別	担当者	ファッションクリエイター コース1年		
					前期	後期	単位
必修	学科 共通	服飾造形 I	実習	大野幸・野口	180		6
		マテリアル/テキスタイル I	講義	秋山	30		2
		西洋服飾史	講義	秋山	30		2
		ファッションドローイング I	実習	大野志	30		1
		クリエイションデザイン I	実習	野田	30		1
		パターンメイキング I	講義	野口	60		4
		色彩学 I	講義	森田	30		2
		Mac実習 I	実習	四田	30		1
		業界研究	講義	特別講師	30	30	4
		服飾造形 II	実習	大野幸		210	7
		クリエイションデザイン II	実習	野田		30	1
		パターンメイキング II	講義	野口		60	4
		色彩学 II	講義	森田		30	2
		Mac実習 II	実習	野田		30	1
		マーケティング I	講義	大方		30	2
							450
必修科目 合計					870		
年間合計時間/単位数					870		40

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

授業科目	服飾造形 I			時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野 幸美・野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。						
学習到達 目標	縫製の基本を身につけ、オリジナルデザインの作品制作に生かせるよう技術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	授業ガイダンス	ミシン、道具の使い方、縫製理論					大野
6～25	タイトスカート	ファスナー、ベルト、裏地、スリットの作り方					大野
26～50	パンツ	ベルト、ポケット、持ち出しの作り方					大野
51～75	シャツ	衿、袖、カフス、ボタンホールの作り方					大野
76	授業ガイダンス	授業、制作物にについて・アイロン定規(紙定規)を作成					野口
77	縫代始末	縫代始末(折り伏せ等6種)・ダーツの縫い方(既製服縫製に基づく技法)					野口
78	段取りの合理化・ファスナー付	パターンカット・生地の裁断					野口
79	ファスナー始末	裏地にファスナー付け・表地にファスナー付け					野口
80～81	ベルト始末	ベルト作り・ベルト付け・両脇ゴム通し・両脇広巾ゴム					野口
82～83	スカートのベンツ始末	額縁始末・ベンツ・スリット					野口
84～85	パンツ前ファスナー始末	パンツ前ファスナー付け・脇ポケット					野口
86～87	襟作りの基本始末	フラットカラー・台襟付きシャツカラー・オープンカラー等					野口
88～89	袖口あき始末	スラッシュ・剣ボロ・袖口いつてこい・袖下あき(玉縁始末)・袖下あき(片倒し)					野口
90	テスト	前期修了テスト					野口
使用テキスト 教材・教具	ボディ、他 約30点、配布プリント、障子紙、カラー不織布、ホッチキス						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のパターン10%、縫製技術30%、スピード10%、課題25%、前期修了テスト25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。						

授業科目	マテリアル/テキスタイル I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	秋山 譲司			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	服飾素材の組成、用途、特徴を理解し、また加工の技術通して的確な知識を身に付ける。						
学習到達 目標	染色、プリント技術を実習、制作を通して理解を深める。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 商品MDの実務経験を活かし、学生に指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	洋服と素材の関係性	洋服の種類と素材の関係性をアイテムごとに考察					
2	素材の成り立ち	繊維の構造、産地、特徴					
3	品質表示と製品加工、染色	品質表示の知識と製品加工の種類に関して、染色の技法、工程など					
4~6	染色実習	染工場の見学を通して工程の詳細を理解する(児島工場見学)					
7	レポート	染めの実習のレポート					
8	プリント加工について	プリント加工の技法、工程など					
9~10	版下作成	シルクスクリーンに使用するデザインの作成(Tシャツ、トートバッグ等)					
11~14	プリント実習	美術館にてシルクスクリーンの手刷り実習					
15	レポート	プリント実習のレポート					
使用テキスト 教材・教具	『生地の事典』株式会社みずしま加工						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	染色レポート40%、プリントアイデア20%、作品20%、レポート20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	西洋服飾史			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	秋山 譲司			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	洋服の歴史を時系列で理解することで時代ごとの各ファッションの成り立ちを掘り下げる。						
学習到達 目標	洋服の歴史を知ることで今後のファッション業界を考える基礎を作る。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	歴史的背景と洋服	歴史の事象とファッションの関係性を掘り下げて考察					
2	各国のファッション	古着、ビンテージ、アンティークから世界の洋服の傾向を考察					
3	50sファッションと背景	世界大戦とその後に生まれたカルチャーとの関連性					
4	60sファッションと背景	ファッション熱が上がった背景と音楽、アートとの関連性					
5	70sファッションと背景	新たなムーブメントとプレタポルテ					
6	80sファッションと背景	MIXカルチャーの始まりとリバイバル					
7	レポート	レポート発表					
8	雑誌とファッション	雑誌の変遷とファッションとの関係					
9~10	MIXカルチャーとストリート	様々なストリートカルチャーの考察					
11	90sファッションと背景	MIXカルチャーの成熟とその背景					
12	00sファッションと背景	ビッグメゾンの復活とモードとストリートの関係					
13	最近の世界のファッション	2010以降のファッションの流れを考察					
14	2024以降のファッション	今後のファッションシーンの予測					
15	レポート	レポート発表					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート2回それぞれ50%ずつで評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションドローイング I		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	大野 志信		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年	
授業科目の テーマと目的	描き方の基礎を学び、イメージを絵として表現できるようになる。					
学習到達 目標	ファッションデザイン画を描く。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 漫画家としての様々なスケッチ、表現方法等の経験をいかし、学生に指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	線を書く(スケッチ)	身の回りの物や人を鉛筆やペンで描く				
2	描画の基礎	遠近法と分割の基礎・人をどう見るか				
3	クロッキー	人を描いてみる(全身)				
4	〃	頭、手、足、衣類などの描き方				
5	物を描く	アクセサリ、帽子やメガネ、バック、靴などを描く				
6	デザイン画用テンプレート	テキストに沿ってテンプレートを制作				
7	基本的なポーズ	テンプレートを使ってポーズを描く(男・女)				
8	〃	〃				
9	頭部(顔・髪)を描く	女性				
10	〃	男性				
11	着衣表現 線画	好きな資料(写真や雑誌、WEB画像)を使ってデザイン画を描いてみる				
12	〃	〃				
13	線画に色を塗る	紙と絵具の使い方・影のつけ方				
14	〃	細部の表現(素材・質感・模様など)				
15	仕上げ	これから描きたいファッションデザイン画をみつけていく				
使用テキスト 教材・教具	『ファッションデザイン画ビギナーズマスター』、コピックチャオ、ミリペン(サクラピグマ0.05・0.5)、サインペン(PIGMA FINE)、鉛筆(ステッドラー4B)、マルマンクロッキー帳SM-02					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題提出40%、作品の出来(表現力)60%で評価する。					
履修上の 留意点	補習の時間がないので休まないこと		検定試験の 概要			
備考	『ファッションデザイン画ビギナーズマスター』以外で参考にしたい本があれば個別に購入。					

授業科目	クリエイションデザイン I		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年	
授業科目の テーマと目的	オリジナリティある発想や、表現方法ができるように発想方法を身に付ける。バランスや色彩感覚などトータルで考える力、見る力を養う。					
学習到達 目標	個性的でクリエイティブなデザインが考えられる力を修得。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 アパレル企業での勤務経験、企業デザイナーとしての実績を生かし、デザインの発想の方法や、デザイン技術を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	ファッションデザインのもと	エレガントとスポーティの意味、モダンとデコラティブの意味				
3～4	〃	テーマからのデザイン発想				
5～6	ファッションアイテムの知識	スカートの知識と課題				
7～8	〃	シャツ・ブラウスの知識と課題、ハンガーイラスト				
9～10	〃	シルエットのバリエーションと課題				
11～12	〃	パンツ・デニムの知識と課題				
13～14	〃	ジャケットの知識と課題				
15	〃	修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	『スタイリングブック』高村 是州/グラフィック社、プリント配布					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	パターンメイキングⅠ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要なパターン作成に関する基本の理解を目指す。						
学習到達 目標	製図理論を理解し、基本的なアイテムの製図が出来る。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	授業ガイダンス	概論・製図道具の名称、扱い方・製図ノートの扱い方・既製服サイズの説明と採寸方法					
3～4	スカート原型	身体の特徴(ボディ使用)・スカート原型の作図(実寸製図)					
5～6	スカートバリエーション①	セミタイトスカート・ギャザースカート・ティアードスカート(縮尺製図)					
7～8	スカートバリエーション②	フレアスカート・サーキュラスカート・ペッグトップ(縮尺製図)					
9～10	身頃原型製図	身頃原型概論・原型作図(実寸製図)・原型補正(サイズ)					
11～12	カット移動・ダーツの操作	カット移動5種・ダーツ処理の基本 後ろ身頃の補正法					
13～14	袖原型	袖原型作図(実寸製図)、袖山の高さの決め方・袖山のカーブの引き方					
15～16	ブラウス(1)	ブラウス作図 フラットカラー・ビショップスリーブ(縮尺製図)					
17～18	ブラウス(2)	シャツブラウス作図・シャツカラー・シャツスリーブ(縮尺製図)					
19～20	ブラウス(3)	セーラーブラウス作図・セーラーカラー・半袖(縮尺製図)					
21～22	パフスリーブ	パフスリーブのギャザー展開方法3種(縮尺製図)					
23～24	パンツ原型	パンツ概論・パンツ原型製図(実寸製図)					
25～26	小テスト	出題したデザインブラウスのパターンメイキング					
27～28	小テスト	出題したデザインブラウスブラウスのトワル裁断・トワル組					
29～30	テスト	前期修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	『パターンメイキングⅠ』学校法人 杉野学園出版部 『パターンメイキングⅡ』学校法人 杉野学園出版部 『ドレメ式原型』学校法人 杉野学園出版部 『ドレメオリジナル原型 1/5』 他 約9点						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学 I		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子		時間割	金曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	色彩に関する基本的な理論と必要性を理解し、色に慣れ親しむ。					
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格できる知識の習得。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師 が、その経験を活かし、色彩の基本的理論を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1~2	概論ー色彩の働き	生活における色彩、ファッションにおける色彩				
3	色彩の体系	色の三属性				
4~5	〃	ヒュー&トーン				
6~7	色彩理論ー基礎	色の成り立ち、光と色、三原色と混色				
8	〃	視覚と色				
9~10	〃	色彩と心理				
11~12	色彩の技術	配色の基礎				
13~14	〃	色彩構成の基礎				
15	テスト	修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩 I : 日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験3級問題集 : 日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判(品番:23177) 3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm(コード:31247818)					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2025年1月18日(土)	
備考						

授業科目	Mac実習 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	四田 素子			時間割	月曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ビジネスに必要な『Microsoft Word』『Microsoft Excel』『Microsoft PowerPoint』の基本操作を学習し、実践できるスキルを習得する。						
学習到達 目標	基本的なビジネス文書やイラストを用いた表現力のある文書、表やグラフ、各種関数が組み込まれたワークシート、見やすく効果的なプレゼンテーション資料が作成できる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word ①	Wordの基本操作を学ぶ					
2	Word ②	Wordで基本的な文書を作成する					
3	Word ③	画像や図形を活用した文書を作成する					
4	Word ④	表を活用した文書を作成する					
5	Word 演習	Wordの復習として演習課題を解く					
6	PowerPoint ①	PowerPointの基本操作を学ぶ					
7	PowerPoint ②	オブジェクトを挿入し視覚効果の高い資料を作成する					
8	PowerPoint ③	プレゼンテーションに動きを設定する					
9	PowerPoint 演習	PowerPointの復習として演習課題を解く					
10	Excel ①	Excelの基本操作を学ぶ					
11	Excel ②	データを計算し表の体裁を整える					
12	Excel ③	いろいろな関数を利用する					
13	Excel ④	グラフ機能やデータベース機能を利用する					
14	Excel 演習	Excelの復習として演習課題を解く					
15	まとめ	WordとExcelを連携した書類を作成する					
使用テキスト 教材・教具	『今すぐ使えるかんたんOffice for Mac』Office2021/Microsoft365 両対応/技術評論社						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%、課題作成70%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	業界研究			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	特別講師			時間割	時間割参照	開講期	通年
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	各分野の第一線で活躍されている講師による特別授業。専門学校の授業が実社会でどのように結びついているのかなど、知識だけではなく多方面から取り組む授業を実施。						
学習到達 目標	主体性や、ファッションに関する創造性・興味・関心・意欲を向上させる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 各分野の第一線で活躍されている講師陣による特別授業。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	舞台衣装						特別講義 1
3～4	テキスタイル						特別講義 2
5～6	ショップマスター						特別講義 3
7～8	スタイリスト						特別講義 4
9～10	デザイン						特別講義 5
11～12	ポートフォリオ						特別講義 6
13～14	コスチューム						特別講義 7
15～16	メンズ						特別講義 8
17～18	レディース						特別講義 9
19～20	カメラ、映像						特別講義 10
21～22	ライティング						特別講義 11
23～24	スタイリスト						特別講義 12
25～26	ブランド						特別講義 13
27～28	経営						特別講義 14
29～30	就職、キャリア						特別講義 15
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形Ⅱ			時間数 (コマ数)	210 (105)	単位数	7
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。						
学習到達 目標	縫製の基本を身につけ、松山コレクションでオリジナルデザインの作品発表に生かせるよう技術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～25	ワンピース(25コマ)		見返し、コンシールファスナー、袖付け				
	発表		撮影、作品発表				
26～60	松山コレクション(35コマ)		オリジナルデザインのシャツ制作				
	発表		撮影、作品発表				
61～105	ジャケット(45コマ)		テーラーカラー、箱ポケット、二枚袖、裏地				
	発表		撮影、作品発表				
使用テキスト 教材・教具	ボディ、他 約30点						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のパターン20%、縫製技術60%、スピード20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。						

授業科目	クリエイションデザインⅡ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年	
授業科目の テーマと目的	オリジナリティある発想や、表現方法ができるように発想方法を身に付ける。バランスや色彩感覚などトータルで考える力、見る力を養う。					
学習到達 目標	個性的でクリエイティブなデザインが考えられる力を修得。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 アパレル企業での勤務経験、企業デザイナーとしての実績を生かし、デザインの発想の方法や、デザイン技術を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	ファッションアイテムの知識	コートの知識と課題				
3～4	〃	ブルゾンのバリエーションと課題				
5～6	〃	シューズと帽子のバリエーション、グッズデザイン①				
7～8	〃	バッグの知識、グッズデザイン②				
9～10	ブランディングデザイン	ブランディングとは				
11～12	〃	シーズン企画				
13	〃	ブランド企画				
14～15	〃	修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	『スタイリングブック』高村 是州/グラフィック社、プリント配布					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	パターンメイキングⅡ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要なパターン作成に関する基本の理解を目指す。						
学習到達 目標	デザインを表現する為のダーツ操作ができ、創作デザインのパターン展開が出来る。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	襟ぐりのバリエーション	ダイヤモンドネック・ハートシェイプドネック・ローネック他6種					
3～6	ジャケット3面体	身頃パネルライン(AH)・テーラードカラー・二枚袖(実寸製図)					
7～10	トワールによる実寸組立て	トワール裁断・ピンワーク					
11～13	ジャケット4面体	身頃プリンセスライン(肩)・ショールカラー・二枚袖(実寸製図)					
14～16	トワールによる実寸組立て	トワール裁断・ピンワーク					
17	フード付きジャケット	身頃ラグラン切り替え・フード(実寸製図)					
18	フードのバリエーション	マチ付き他3種					
19～20	トワールによる実寸組立て	トワール裁断・ミシン縫製					
21～22	ワンピース①	身頃プリンセスライン・ラウンドネック・タックドスリーブ(縮尺製図)					
23～24	ワンピース②	身頃ウエスト切り替え・オープンカラー・半袖(縮尺製図)					
25～26	ワンピース③	きものスリーブワンピース(縮尺製図)					
27～28	身頃続きの袖	フレンチスリーブ・ドルマンスリーブ					
29～30	テスト	後期修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	『パターンメイキングⅠ』学校法人 杉野学園出版部 『パターンメイキングⅡ』学校法人 杉野学園出版部 『ドレメ式原型』学校法人 杉野学園出版部 『ドレメオリジナル原型 1/5』 他 約9点						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学Ⅱ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	商品企画やデザイン・販売における具体的事例に触れながら活用イメージを膨らませ、提案できる色彩スキルの基礎を身につける。					
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師が、その経験を活かし、色彩スキルの基礎を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	ファッション産業と色彩	ファッション産業における色彩の役割				
2	〃	企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通段階の色彩				
3	〃	染色について				
4	〃	ビジュアルマーチャндаイジング(VP・PP・IP)				
5	〃	照明の色と種類				
6~12	検定対策	過去問題集から模擬テスト、解答解説、試験勉強対策				
13	パーソナルカラー診断	診断の概要、デモンストレーション、ファッションへの応用				
14	骨格診断	診断の概要、デモンストレーション、ファッションへの応用				
15	テスト	修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩Ⅰ：日本ファッション教育振興協会 ファッション色彩能力検定試験3級問題集：日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判(品番：23177) 3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm(コード：31247818)					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2025年1月18日(土)	
備考						

授業科目	Mac実習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	Adobe Illustrator、Photoshopを中心に基本操作から応用までのテクニックを修得できクリエイションデザインの幅を広げることが目標。						
学習到達 目標	ハンガーイラスト、スタイル画をPCで描ける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Illustratorの基本操作Ⅰ	直線と曲線①					
2	Illustratorの基本操作Ⅰ	直線と曲線②					
3	Illustratorの基本操作Ⅰ	直線と曲線③					
4	Illustratorの基本操作Ⅱ	キャラクターを描こう①ドラえもん					
5	Illustratorの基本操作Ⅱ	キャラクターを描こう②好きなキャラクター					
6	Photoshop基本操作Ⅰ	マガジンの表紙をつくろう①					
7	Photoshop基本操作Ⅰ	マガジンの表紙をつくろう②					
8	Photoshop基本操作Ⅰ	マガジンの表紙をつくろう③					
9	Photoshop基本操作Ⅱ	Photoshopで着色①					
10	Photoshop基本操作Ⅱ	Photoshopで着色②					
11	Photoshop基本操作Ⅱ	Photoshopで着色③					
12	企画MAP制作	テーマからのimageMAP					
13	企画MAP制作	スタイル画					
14	企画MAP制作	ハンガーイラスト					
15	企画MAP制作	プレゼンテーション					
使用テキスト 教材・教具	プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%、プレゼンテーション40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	マーケティング I		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大方 和則		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	実際に店舗開発をシミュレーションし、ファッションマーケティングを実践的に学ぶ。					
学習到達 目標	ファッションマーケティングの基礎知識を説明できる。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長、パイヤー・マネージャーなどの経験を活かし、学生に指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	ファッション業界の現状	現在の市場動向を把握 マーケティングとは				
2	店舗企画	価値の創出 コンセプト パーパス				
3	店舗企画	スタイリングイメージ				
4	店舗企画	STP分析				
5	店舗企画	バイイング SS				
6	店舗企画	バイイング AW				
7	店舗企画	PB企画 生産生産				
8	店舗企画	PB企画 海外生産				
9	店舗企画	立地戦略				
10	店舗企画	52週MD VMD				
11	店舗企画	FA・接客・マネイジメント				
12	店舗企画	デジタル戦略(EC・バーチャルショップ メタバース ライブコマース)				
13	店舗企画	プレスについて				
14	店舗企画	3ヶ年予算計画 初年度月別予算				
15	総論	プレゼンテーション				
使用テキスト 教材・教具	パソコン					
参考図書 参考文献	ファッションビジネス能力検定2.3級 ファッション販売能力検定2.3級					
成績評価の 方法・基準	課題を100%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考	基本的にオンライン授業になる為、PCとイヤホンを持参。出席の意識を強くもつこと。					